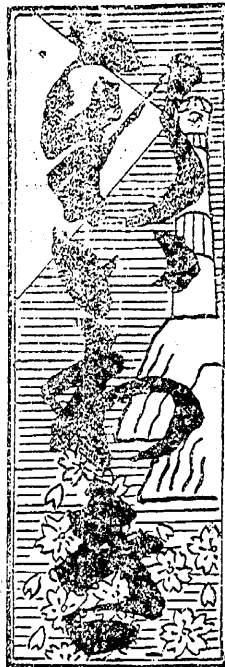


刊夕日五十二月三



発行所 平町大町五
新島縣平町大町五
新島縣平町大町五

常識講座
暫らくとは時間を示す
副詞であつて暫時の熟
字がある通りだ之れを
姑くと混同して使ふの
は誤りで姑くは時間に
關係をもたぬチョット
の意で姑く措くなどの
場合に用いる暫措は誤

五丁目五拾五圓五拾錢、新
川町四圓、村中町廿五圓
錢、銀拾圓、田中町廿五圓
南町六拾七圓四拾五錢、久
保町廿五圓、胡澤澤井一圓
六拾五錢、北白銀町廿六圓
七拾錢、仲町町廿六圓九
二錢、鎌田町一圓四拾錢、
立町町七圓、堤之内六圓四
拾錢、南白銀町四拾四圓六

拾錢大工町拾五圓、搔搔小
路七拾一圓七拾錢、舊城跡
九圓六拾錢、八幡小路拾
六圓七拾錢、月見町拾圓
北町拾七圓、搔搔小路火
防組五圓、同青年團五圓、
平機庫神交會廿圓、平町役
場廿二圓四拾錢、紺屋町廿
二十五圓六十錢

豊間大敷網
豊間村大敷網漁業は來月十日
から開始するととなり目下漁
具の修理や出漁準備やらで女
子供までが出勤して忙がしく
駆け廻り如何にも漁村の春ら
しい賑はひを呈してゐる

偶感
谷口安比呂
(5)
社會を一家と見て、理の上
より言へば、警察署長は嚴父
町長は慈母に相當するが、依
つて管下の民も、その命に服
さねば成らぬ。

粉炭が餘る有煙に 無煙で 納の新契約 明八年度から三萬噸を 値段は三圓五十錢位か

石城地方の各炭礦では昨春秋
以來需用先の各種工場が蘇つ
た好實行きに過去二、三年の
經營苦を一掃したが對米關係
の生糸相場が引立たず現在の
七百圓以下では前年の秋關及
び晩秋關に於て八百五、六十
圓を豫想した原料の買入れに
非常な欠損である小製糸工場
が續々戸を閉めて來た爲め粉
炭の販路が思はしからず昨今

赤井産業組合では廿四日午後
一時から小學校で總會を開き
八年度最高借入金限度を五千
圓、同組合員に對する貸付金
を五十圓に、剩餘金預入先は
農銀平支店と決定、また八年
度より組織を變更し従來有限
責任であつたのを保證責任に
大平末太郎、

解散問題は遂に
來月に持ち越し
二日がかりの木炭總會
何等得る所なく閉會す

八十老婆の首を締め
内郷のエロ・ルンペン檢舉
水道一時斷水
柳町、四軒町

寄留届、怠る者多い
あはてて届け出る始末

併優から盗む
社會を一家と見て、理の上
より言へば、警察署長は嚴父
町長は慈母に相當するが、依
つて管下の民も、その命に服
さねば成らぬ。

偶感
谷口安比呂
(5)
社會を一家と見て、理の上
より言へば、警察署長は嚴父
町長は慈母に相當するが、依
つて管下の民も、その命に服
さねば成らぬ。

決定した救濟工事 平町で二萬二千圓 長橋から五丁目の國道側溝工事 新川から鎌田の幹線開設

石城郡に於ける明八年度の町
村施行に係る救濟土木は總額
二十余萬圓に達するものゝ如
く遅くも來る三十日迄に配當
額を決せられる模様であつて
平町長橋から五丁目に至る國
道の側溝工事約一萬五千圓は
既に決定せらるゝ同工事は
半額の町費支出であつて次に
宇大町通幹線延長する新川
町から鎌田町に至る一萬八千
圓の道路開設工事も認められ
るものゝ如く右は四分の三の
補助を受けられるもので之れ
また町の負擔が極めて輕く是
れ等の工事が明年度早々着手

平町花の協議
平町では廿七日午後一時から
土木委員會を開き觀客歡迎
方法及び公園、新川端の美化
計畫につき協議する

平町會
九日午後一時から開き左記議
案を審議する
七年度土木工事施行年度繰
越の件、七年度歳出豫算更
正の件、八年度歳出豫算更
正の件、水道事業費起債利
率低減の件、汚物掃除契約
の件

義捐金漸く纏まる
けふ縣學務部宛て寄託

平商も入學難
志願者百八十名

病氣厄拂ひ祈願
平町銀治
町では二十五日縣社子鐵倉神
社で病氣除けの祈願を行った

偶感
谷口安比呂
(5)
社會を一家と見て、理の上
より言へば、警察署長は嚴父
町長は慈母に相當するが、依
つて管下の民も、その命に服
さねば成らぬ。

義捐金漸く纏まる
けふ縣學務部宛て寄託
平町でかねて募集中の三陸
災罹災者救濟義捐金は漸く
まとつた、募金總額は千七十
圓二錢でこのうち義捐品送料
を差引き千六百七十四圓三二錢
を今廿五日縣學務部宛て送寄

平町でかねて募集中の三陸
災罹災者救濟義捐金は漸く
まとつた、募金總額は千七十
圓二錢でこのうち義捐品送料
を差引き千六百七十四圓三二錢
を今廿五日縣學務部宛て送寄

平町でかねて募集中の三陸
災罹災者救濟義捐金は漸く
まとつた、募金總額は千七十
圓二錢でこのうち義捐品送料
を差引き千六百七十四圓三二錢
を今廿五日縣學務部宛て送寄

平町でかねて募集中の三陸
災罹災者救濟義捐金は漸く
まとつた、募金總額は千七十
圓二錢でこのうち義捐品送料
を差引き千六百七十四圓三二錢
を今廿五日縣學務部宛て送寄

平町でかねて募集中の三陸
災罹災者救濟義捐金は漸く
まとつた、募金總額は千七十
圓二錢でこのうち義捐品送料
を差引き千六百七十四圓三二錢
を今廿五日縣學務部宛て送寄

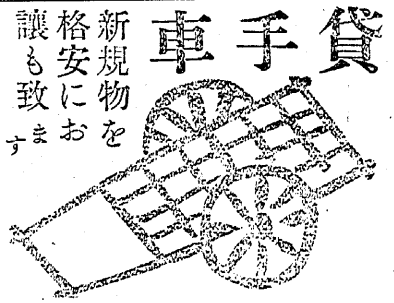
平町でかねて募集中の三陸
災罹災者救濟義捐金は漸く
まとつた、募金總額は千七十
圓二錢でこのうち義捐品送料
を差引き千六百七十四圓三二錢
を今廿五日縣學務部宛て送寄

産婆の常識

副業の常識 (四)
東農大出身 鈴木技師

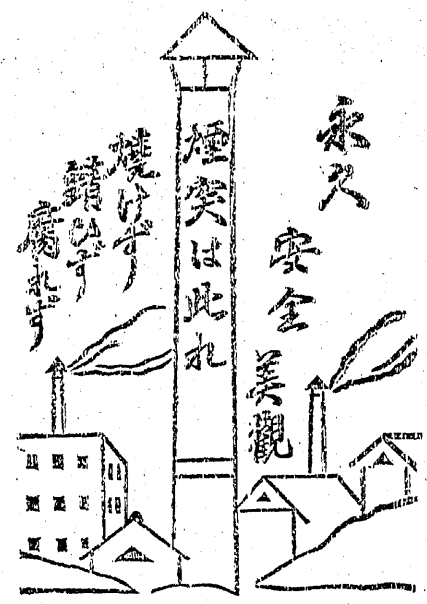
二、輸卵管は長圓形の管で其の卵巣に接近する部は漏斗状に擴張してゐるから卵の受取には都合よく出来てゐる、而して其の後は子宮に連絡してゐる、交尾した場合雄の精虫は此所まで到達してゐて卵が卵巣より来た場合直ちに受精して所謂受精卵となるものである、而して其の受精であるとは無精であるを問はず卵は回転しながら子宮に送られるのである、此の際輸卵管の壁からは蛋白質(卵白)が分泌せられるから茲で卵白が形成せられ卵黄を包むのである、カラザは其の回転の際に卵白の捻轉せられたものである、

三、子宮は要するに輸卵管の連続で其の最下部に位置する少し狭い短かい部である此の部には卵殻膜や卵殻を分泌する腺があるからこの作用によつて漸く完全の卵となるものである、子宮の下方に狭へ短かくなつてゐて直ちに排泄腔に開口してゐる、今完全の卵が愈々排泄腔されると云ふ時、其の排出を容易にする爲め壁から油状の分泌液を出すものである、故に産出された瞬間のものは外面は濡り氣があるが漸次乾いて粉未状となる、古くなつたり又は水で洗ふとこの粉が落ちるからつや／＼するもので併もこの粉は卵黄の氣孔を塞ぎ卵白部の水分の蒸發を防ぐ作用があるから若しこれが取れて永く経たものは内容が蒸發してゐるから孵化の割合が悪くなるのである、



貸手車
新規物を格安にお譲り致します
平町大町若松醫院隣
紺屋町

入院應需
藤沼醫院
電話五〇七番
平町



煙突は此れ
大谷建材商店
平紺屋町 電366

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前 電六六九番

藤田女學校入學案内
一、本科 科五〇名
二、裁縫專修科 科百〇名
三、師範科 科五〇名
四、專攻科 科二〇名
五、本科裁縫專修科(補欠)若干名
六、選科 若干名
右希望者は至急願書提出のこと
詳細は本校宛則請求せらるべし
昭和八年三月
福島縣平町
文部大臣 藤田女學校
認可 電話三二二八番

集募徒生
光輝ある歴史
堅實なる學風
磐城佑賢學舎
中等科 「中學程度」
女子部 「高女程度」
入學願書 四月四日 まで
山城町平
(番三九話電)

産婆看護婦募集
願書提出四月八日迄 可成至急
修業年限 産婆 看護婦を通じて一ケ年
平町一丁目
石城看護婦學校
校長 應崎 千代
電話三五七番

共濟病院案内
院長 醫學博士 石山謙郎
自宅 電話二四四番
内兒科 醫學博士 石山謙郎
小兒科 醫學局員 佐久間 粹
外科耳鼻咽喉科 醫學博士 桂 重次
喉科皮膚科 醫學士 有馬 勇二
産婦人科 醫學士 五十嵐 雄二
醫學局員 佐久間 粹
X光線科 醫學博士 石山謙郎
技師 工藤 慶造
衛生試驗所 醫學博士 石山謙郎
技師 高後 利雄
藥局 藥劑士 吉本 幸平
診療時刻午前八時より午後六時迄
但急患はこの限りに非ず
平町
磐城共濟會
電話六四一番

クサリの調合 平町五丁目角
化粧品 山野邊藥局
體溫計 山野邊藥局
郷土生薬の研究
和漢藥療法の研究
顧問 藥學博士 柳澤秀吉先生指導
東華皇漢藥研究所
主任 藥劑士 山野邊東次郎

産婆看護婦募集
今! 入學の好時期
御希望の方へ至急御申込み
新學期ハ 四月四日ヨリ
平南町
平産婆看護婦學校
校長 請野 千日
電話 三〇七番

資材
和洋家具製作徒弟 十名
西洋塗徒弟 一名
椅子張徒弟 一名
集いたします
和洋家具製作徒弟
西洋塗徒弟
椅子張徒弟
一名
一名
一名

和洋家具製作徒弟
資材
和洋家具製作徒弟 十名
西洋塗徒弟 一名
椅子張徒弟 一名
集いたします
和洋家具製作徒弟
西洋塗徒弟
椅子張徒弟
一名
一名
一名

丸はん商店
平町三丁目 電話三五九番
製作所
平町新田前 電話一八二番